

利用客減少でも黒字計上

2020年度 キャンプイン海山 実績

紀北町は伊ノ山の町・子川の遊泳客は前年度營オートキャンプ場 比べ大幅に増加した「キャンプイン海山」が、感染が拡大した大

の2020年度収支決算と利用実績をまとめ

20年度はコロナ禍の

アウトドア人気で、銃撃で、コテージとキャン



新型コロナウイルスの臨時休業や県外客の受け入れ自粛で2020年は利用者数、売り上げが減少したキャンプイン海山(昨年5月)

ンプサイトの利用者数、売り上げとも前年度を下回った。利用者数は前年度に比べ7146人(25・4%)、減の2万963

人。使料料などを売り上げ収入は1401万円(20・1%)、減の5566万円、支出は1242万円(21・5%)、減の4514万円。差

引引き10224万円の黒字で、前年度(1182万円)に比べ13・4%の減少。

新型コロナウイルスによる国の緊急事態宣言を受け、4月10日から大型連休を挟んで5月22日まで県外客の受け入れ自粛や臨時休業で売り上げは落ちたが、経費削減などで6年度から21年連続の黒

字を計上した。利益の最高額は18年度の1207万円。

大型連休の臨時休業(4月10日・5月6日)で4・5月は利用者44人となり前年度(4251人)のわずか17・5%に激減。繁忙期の7・9月も夏

休み期間の短縮や3務回避の利用制限で前年度比32886人(20%)減の1万28654

人。例年利用客が少ない10・12月はコロナ禍により10・12月はコロナ禍による7年度から町の指定管理で同法人に運営を委託している。銃子川沿いのオートキャンプ場は敷地3万5千平方メートル、コテージ15棟、キャンプサイト70区画(リバーサイト40、林間サイト30)の

キャンプサイトの使用料。支出はNPO法人ふるさと企画舎(田上至理理事長)に運営委託の指定管理料29332万円、報償費1483万円(前年度比45%)、備品購入費62万円、需用費や修繕費60万円など。報償費は収入が自標の3145万円を円を定える額の70%を同法人に還元している。

奥ノ山から20年以上が経過して施設の老朽化で修繕箇所が増加。20年度は平岡コテージの屋根を改修し、工事費112万円は前年度の町収益分で購入した。

キャンプイン海山は1998(平成10)年にオープン。2007年度から町の指定管理で同法人に運営を委託している。銃子川沿いのオートキャンプ場は敷地3万5千平方メートル、コテージ15棟、キャンプサイト70区画(リバーサイト40、林間サイト30)の

ほか、炭火焼きハウスや数車庫、トイレ棟、木エアー広場、芝生広場などがある。同法人は正社員3人とパート9人の計12人。

臨工観光課では「臨時休業や営業再開後の感染防止対策、利用客の制限で利用者数、売上額とも前年度を下回ったが、指定管理者の努力で黒字を計上できた。コロナ禍のアウトドアームで幅広い年齢層の新規客が増えており、今後も指定管理者と連携して地域資源を生かした魅力づくりと情報発信に努めたい」と話している。

キャンプイン海山は1998(平成10)年にオープン。2007年度から町の指定管理で同法人に運営を委託している。銃子川沿いのオートキャンプ場は敷地3万5千平方メートル、コテージ15棟、キャンプサイト70区画(リバーサイト40、林間サイト30)の